作成日： 2016年07月27日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : ぬれ張力試験液 42.0mN/m

製品番号(SDS NO) : 55070jis_J-1

供給者情報詳細

供給者 : 純正化学株式会社

住所 : 埼玉県越谷市大間野町1-6

担当部署 : 品質保証部

電話番号 : 048-986-6161

FAX : 048-989-2787

e-mail address : shiyaku-t@junsei.co.jp

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（吸入）：区分 4

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 1(中枢神経系、腎臓、肝臓、精巣）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1(精巣、造血系）

（注）記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素

注意喚起語：危険

危険有害性情報

可燃性液体

吸入すると有害（蒸気）

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。－禁煙。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災に際しては指定された消火剤を使用する。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

物理的及び化学的危険性
高温になると引火、燃焼する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 ：
混合物

慣用名、別名 ： ぬれ指数標準液 No.42

成分名:エチレングリコールモノエチルエーテル
含有量(%):28.5v/v
化学式:$C_4H_{10}O_2$
化審法番号:2-411;2-2424; 7-97
CAS No.:110-80-5
MW:90.12
ECNO:203-804-1

成分名:ホルムアミド
含有量(%):71.5v/v
化学式:CH_3NO
化審法番号:2-681
CAS No.:75-12-7
MW:45.04
ECNO:200-842-0

不純物および安定添加物
着色剤：ビクトリアピュアブルーBO 約0.03%含有

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置
消火剤
適切な消火剤
火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。
特有の危険有害性
加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
霧状水により容器を冷却する。
消火を行う者の保護
防火服/防炎服/耐火服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項
上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策
漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い
技術的対策
(取扱者のばく露防止)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
(火災・爆発の防止)
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
局所排気、全体換気
排気/換気設備を設ける。
注意事項
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。
保護手袋及び保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件
適切な保管条件
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度
(エチレングリコールモノエチルエーテル)
作業環境評価基準(1995) <= 5 ppm
許容濃度
(エチレングリコールモノエチルエーテル)
日本産衛学会(1985) 5ppm; 18mg/m3 (皮)
ACGIH(1981) TWA: 5ppm (男性生殖機能障害; 胎児致命的障害)
注釈(症状、摂取経路など)…皮膚吸収
(ホルムアミド)
ACGIH(1985) TWA: 10ppm (眼および皮膚刺激; 腎臓および肝臓障害)
注釈(症状、摂取経路など)…皮膚吸収
OSHA-PEL
(エチレングリコールモノエチルエーテル)
TWA 200ppm, 740mg/m3
ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
呼吸用保護具
呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理的状態
形状 : 液体
色 : 青色
臭い : 特有臭
pHデータなし
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲
初留点/沸点 : 135℃(エチレングリコールモノエチルエーテル)
融点/凝固点データなし
分解温度データなし
引火点 : 71℃
自然発火温度 : 235℃(エチレングリコールモノエチルエーテル)
爆発特性データなし

蒸気圧データなし
蒸気密度データなし
20℃での蒸気/空気混合気体の相対密度(空気＝1) : 1
比重/密度データなし
溶解度
水に対する溶解度 ： 混和する
n-オクタノール／水分配係数データなし

10. 安定性及び反応性
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
引火性
危険有害反応可能性
強力な酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
多くのプラスチックやゴムを侵す。
避けるべき条件
混蝕危険物質との接触。
裸火、加熱
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報
毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性（経口）
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコ-ルモノエチルエ-テル) rat LD50=2125～5720 mg/kg (PATTY 6th, 2012)
急性毒性（経皮）
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコ-ルモノエチルエ-テル) rabbit LD50=3311～15200 mg/kg (CICAD 67, 2010)
急性毒性（吸入）
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコ-ルモノエチルエ-テル) vapor : rat LC50=4336 ppm/4hr (CICAD 67, 2010)
局所効果
眼に対する重篤な損傷・刺激性
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコ-ルモノエチルエ-テル) ラビット ： 軽度の刺激 (EU-RAR, 2008)
(ホルムアミド) ラビット ： 軽度の刺激性 (SIDS, 2013; ACGIH 7th, 2001)
感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
生殖毒性
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコ-ルモノエチルエ-テル) cat.1B; PATTY 6th, 2012
(ホルムアミド) cat.1B; NTP DB, 2014; SIDS, 2013
短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
[区分1]
[日本公表根拠データ]

(エチレングリコールモノエチルエーテル) 中枢神経系、血液系、腎臓、肝臓 (PATTY 6th, 2012)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコールモノエチルエーテル) 血液系、精巣 (CICAD 67, 2010)
吸引性呼吸器有害性データなし
その他情報
この調合製品自体のデータは得られていない。

12. 環境影響情報
生態毒性
水生毒性
水生毒性(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコールモノエチルエーテル)
甲殻類(オオミジンコ) EC50 > 89.5 mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2002)
(ホルムアミド)
魚類(メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1998)
水生毒性(長期間) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(エチレングリコールモノエチルエーテル)
甲殻類 (オオミジンコ) NOEC > 97mg/L/21 days (環境省生態影響試験, 2002)
(ホルムアミド)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC > 10 mg/L/72hr (環境庁生態影響試験, 1998)
水溶解度
(エチレングリコールモノエチルエーテル) 100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)
(ホルムアミド) 100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)
残留性・分解性
(エチレングリコールモノエチルエーテル)
急速分解性[BODによる分解度=63～83% (既存点検, 1980)]
(ホルムアミド)
急速分解性[OECD TG301A_DOCによる分解度:99% (SIDS, 2013)]
生体蓄積性
(ホルムアミド) log Pow=-1.51 (ICSC, 2013)
(エチレングリコールモノエチルエーテル) log Pow=-0.540 (ICSC, 2003)
その他情報
この調合製品自体のデータは得られていない。

13. 廃棄上の注意
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意
国連番号、国連分類
国連番号に該当しない
バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Y類)…ホルムアミド

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

エチレングリコールモノエチルエーテル

名称表示危険/有害物(令18条)

エチレングリコールモノエチルエーテル(区分内番号3の3)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

エチレングリコールモノエチルエーテル(区分内番号77); ホルムアミド(区分内番号547)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

エチレングリコールモノエチルエーテル(1-057)

消防法

第4類 引火性液体第3石油類水溶性 危険等級 III

大気汚染防止法

有害大気汚染物質(中環審第9次答申)

エチレングリコールモノエチルエーテル

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html
事業者向けGHS分類ガイダンス(平成２５年度改訂版,経済産業省)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成26年度)です。